

# 新産業創造委員会 事業計画（案）

副理事長 九富 翔  
新産業創造委員会 委員長 九星 大輔

私たちの住み暮らす「瀬戸内海に浮かぶ小豆島」は、海上交通の要所として地場産業が栄え発展し、観光地としてもさまざまな可能性に満ち溢れている地域です。我々公益社団法人小豆島青年会議所（以下小豆島J.C）は、新たな産業が生まれ、過去にあった産業がなくなっていく大きな変革期だからこそ、さらなる小豆島の発展のために島民が全国に散らばる仲間と共に新たな産業がおこせる秀逸な仕組みを生み出す力を養う必要があります。

まずは、新産業を創造する第一歩として、小豆島の魅力・地域の産業・観光資源を生かし、小豆島の持つ魅力や可能性を見出し、小豆島の未来を描くため、全国で新たな事業に取り組んでいる人や団体の方々・行政の方々と共に連携し、小豆島にとってより良い産業とは何かを学びます。そして、香川ブロック大会にて我々が思い描く新産業を創造し、具体的に実践するため、小豆島を愛する仲間と共に新たな産業・瀬戸内での新たな可能性を導き出し、変わり続ける時代の中で新産業にむけた課題を解決する事業をします。さらに、我々小豆島J.Cメンバーが、宇宙（未来）を切り開き小豆島の可能性を、より広げるため、これらの事業で得た学びを基に、新産業に向け勇気をもって新たな一步を踏み出す事業を行い、持続性のある産業を瀬戸内・小豆島より展開していけるよう取り組んで参ります。また、本年は赤穂青年会議所・一般社団法人備前青年会議所と、交流が始まり10周年という節目の年です。この諸先輩方から脈々と受け継がれた交流を今後も継続していくために、先輩方をはじめこの交流に携わった方々と一緒に記念事業・記念祝賀会を行います。

新産業を生み出すことによって、「瀬戸内海に浮かぶ小豆島」として、小豆島ひいては瀬戸内の多くの地域に影響を与えます。そして、これからの時代を生き抜くために、新たな視点と多様性を持ち、新たな産業がおこせる秀逸な仕組みが出来ると確信しております。

## <事業計画>

1. ビジネスモデルづくり研修事業実施
2. 香川ブロック大会での事業実施（7月）
3. 3LOM合同例会事業実施
4. 小豆島での新産業創造事業実施
5. 例会及び総会の運営・設営（4月、5月、8月、11月、12月）
6. その他